

# 指定管理者制度導入施設 年度評価シート

評価年度	令和6年度
------	-------

## 1 基本情報

公の施設名	相模原市立診療所(青野原診療所、千木良診療所、藤野診療所)
指定管理者名	日本赤十字社
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日(5年間)
施設設置条例	相模原市立診療所条例
施設の設置目的	診療、看護、公衆衛生活動等を行うため
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆市立青野原診療所:相模原市緑区青野原2015番地2 昭和39年2月1日(平成22年4月1日に神奈川県から移管)開設</li> <li>◆市立千木良診療所:相模原市緑区千木良852番地8 昭和42年4月1日(平成22年4月1日に神奈川県から移管)開設</li> <li>◆市立藤野診療所:相模原市緑区小淵1656番地1 昭和36年7月1日(平成22年4月1日に神奈川県から移管)開設</li> </ul>
施設所管課	健康福祉局 保健衛生部 医療政策課

## 2 管理実績

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用者数合計(人)	15,944	12,291	13,376	13,524	15,178	15,526	
うち 往診患者延数	269	152	197	188	248	425	
診療収益(円)	160,046,152	133,917,662	143,319,635	141,659,181	158,890,586	157,275,430	
診療単価(円)	10,038	10,896	10,715	10,475	10,469	10,130	

## 3 成果指標の達成度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>S</b>	令和6年度は、令和5年度対比で171.4%と目標を大きく上回っていることからS評価とする。訪問診療に対する患者のニーズは高いと考えられることから、引き続き適切に訪問診療を行っていただきたい。

<b>指標1</b>	
指標名(単位)	訪問診療の利用者数(地域住民が必要な医療として需要の増加が見込まれるため)
指標式と指標の説明	3診療所の年間累計(目標値は前年度実績)

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(人)	-	-	152.0	197	188	248	
実績値(人)	269.0	152.0	197.0	188	248	425	
達成度(%)	-	-	129.6%	95.4%	131.9%	171.4%	

#### 4 事業の実施状況

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	市が指定する事業については協定書及び仕様書に基づき、適正に遂行されていることから、A評価とする。

##### 市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
地域住民に対する初期医療の提供及び病診連携による地域の医療水準の向上	通年	津久井地域における診療所として、相模原赤十字病院等と連携し、地域医療体制の維持に貢献した。	○
訪問診療の実施による在宅患者の支援	通年	訪問診療を年間を通して実施した。 (延べ往診患者人数:425人)	○
公衆衛生活動等の実施による地域住民の健康増進	通年	健康診断及び予防接種を実施した。 (1診療所あたり月平均14.0日実施)	○

##### 企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

##### 自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

#### 5 利用者の満足度

評価(5評価)	評価理由・委員会意見
<b>A</b>	「また利用したい」という評価の割合は目標の93.8%を上回る98.9%で、達成度は105.4%となったことから、A評価とする。診療待ち時間で一部低い評価もあるが、平均80%以上の満足度が得られていること、職員の対応についても高い満足度が得られていることは評価できる。

##### 利用者満足度調査

調査手法/サンプル数	「診療所職員の対応」、「診療待ちから会計までの待ち時間」項目において、利用者を対象にアンケート調査を実施した。 サンプル数:青野原…111、千木良…170、藤野…283 実施時期:令和7年1月7日～令和7年1月25日
目標値の基準	利用者から「また利用したい」との評価を受けている割合の3診療所の平均値が、前年度までの平均値を上回ること

項目(単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値(%)	92.4	92.7	92.9	93.2	93.5	93.8	
実績値(%)	95.4	95.4	96.4	98.3	98.7	98.9	
達成度(%)	103.2%	102.9%	103.8%	105.5%	105.6%	105.4%	

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	市が指定する事業の収支は黒字であり、指定管理者団体本体の経営状況についても特段の問題はないため、S評価とする。3診療所の合計患者数は増加しているが、前年度の患者数を上回ったのは藤野診療所のみであることから、新規患者の確保、再来患者の定着化に引き続き務めていただきたい。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (円)		
項目		令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入 (a)		206,959,688	224,364,092	225,109,836
指定管理料		63,078,000	64,706,000	66,664,000
利用料金収入		141,659,181	158,890,586	157,275,430
その他の収入		2,222,507	767,506	1,170,406
支出 (b)		182,150,461	189,168,727	196,996,530
材料費		30,576,771	33,142,657	33,276,957
給与費		114,370,294	115,580,069	120,641,107
委託費		19,678,798	23,676,260	26,244,775
設備関係費		8,611,027	7,515,902	8,531,068
その他の支出		8,913,571	9,253,839	8,302,623
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)		24,809,227	35,195,365	28,113,306
自主事業収入 (d)		0	0	0
自主事業支出 (e)		0	0	0
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)		0	0	0
全体収支 [(c)+(f)]		24,809,227	35,195,365	28,113,306
備考				
団体の財務状況	団体本体の経営状況について特段の問題はない。			

## 7 管理業務の履行状況

検査方法	現地確認、書類提出及び指定管理者へのヒアリング
実施時期	各診療所、指定管理者：令和7年7月4日実施

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	仕様書に定められた業務が適正に実施されていること及び環境配慮への取組みが行われていることを確認した。
危機管理	適正に実施	安全管理・衛生管理・危機管理に関するマニュアルが整備され、緊急連絡体制が確立されていることを確認した。
人員配置・地元活用	適正に実施	事業計画書及び従事者に関する届のとおり人員が配置され、勤務体制や労働条件・環境に問題がないことを確認した。また、地元活用について事業計画及び第三者委託承認申請書のとおり実施されていることを確認した。
現金管理	適正に実施	現金受払簿が整備され、売上(診療報酬)、両替金、手許金等が適切に管理されていること、また売上(診療報酬)が毎日入金されていることを確認した。
会計・経理	適正に実施	通帳の出入金記録及び仕訳伝票にて、指定管理料及び文書料が適正に管理されていることを確認した。
情報セキュリティ	適正に実施	医療情報システム運用管理規程が整備され、従事者への周知(研修)が行われていること、ID及びパスワードが適正に管理されていること、PCにウイルス対策ソフトが有効に設定されていること、外部と通信を行うPCについてはファイアウォールが有効になっていることを確認した。
情報公開・個人情報保護	適正に実施	プライバシーポリシー、情報開示に関する規程、文書管理に関する規程が作成されていることを確認した。また、文書管理に関する規程に基づいて文書が作成されていることを確認した。
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	業務の再委託、備品の調達と廃棄、従事者の変更について報告及び事前承認が行われていることを確認した。
加点事由	具体的内容	

## 8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	無
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	
その他取り組んでいること	

## 9 指定管理者の自己評価

令和6年度は前年度と同様に各診療所に常勤医師が配置できたため、患者数が348人増加し、訪問診療についても177人増加した。収支状況については、昨年度と比較すると、収入は約74万円の増加、支出は約782万円の増加となり、約708万円の収支悪化となった。支出増加の要因として、医師派遣費用の増加及び物価高騰が挙げられる。今後の課題としては訪問診療の患者数増加及び青野原診療所・藤野診療所へは電子カルテの導入が予定されているため、病院と診療所間で協力しながら、スムーズな移行ができるよう努めていきたい。令和7年度はさらなる患者数増加に繋がるように相模原赤十字病院を基軸に近隣医療機関との機能連携及び地域開業医などとの連携を一層強化し紹介患者の増加を図りたい。また、令和3年、4年、5年と同様に現状は指定管理料により黒字となっているが、質の高い医療を目指しつつ経営改善できるよう努めたい。

## 10 所管課意見

令和6年度は前年度より全体の患者数や訪問看護数も増加していることは評価できるが、患者数が増加したのは藤野診療所のみとなっていることから、青野原、千木良診療所においては患者数の増加に努めていただきたい。また、地域活動への協力や予防医療・健康活動に関する住民サービスについては、青野原診療所においては未実施であるため、予防医療や健康活動に関する講座や教室の企画・開催を行うなど地域医療への貢献について取り組んでいただきたい。

現地確認において、昨年度指摘して災害用備蓄品については対応がなされていたが、一部のマニュアルの更新漏れや、植え込みが民地に入ってしまったなど軽微ではあるが不適格事項が確認されたことから、万全を期した運営・管理に努めていただきたい。

## 11 選考委員会意見

・診療所医師の医師会への参加状況が芳しくないと思われる。医師会への積極的参加を通じての地域医療、福祉への貢献が望まれる。相模原赤十字病院以外との病診連携、地域の他の診療所との病診連携を構築する上でも医師会への参加は大切と思われる。

・令和4年度から令和6年度にかけて安定して事業収支の黒字が続いており、評価できると考える。全体の患者数が増加しているものの、藤野診療所のみとの事であるので、他の診療所の奮起に期待したい。利用者の満足度調査で一部待ち時間に低い評価があるとの事だが、こちらの改善を続けてほしい。

・人口減少地域で、地域に根ざした存在であることがアンケートから伺えます。高齢者も多く、ニーズも高いので引き続き訪問診療等の医療を充実して下さるよう望みます。

・令和5年度と比較し、利用者が増加、とくに、往診患者延数が大きく増加していることを高く評価します。また、利用者満足度調査において、各診療所ともに、職員が親切、話しやすい、安心感があるなどの意見をいただき、「また、利用したい」との評価が98.9%と、前年度をさらに上回ったことについて、職員の皆様の丁寧な対応を評価します。高齢化が進む中、今後も、地域のニーズに合った温かな医療の提供とともに、地域住民への生活習慣病予防や介護予防などの活動にも一層取り組んでいただくよう、お願いします。

### 総合評価（自動判定）

S

(85/100)

